

(参考抄訳)

## AIG は、ピーター・D・ハンコック氏を社長兼 CEO に任命

ニューヨーク、2014 年 6 月 10 日—アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所銘柄：AIG）は、本日、AIG の取締役会が、9 月 1 日付でピーター・D・ハンコック氏を AIG の社長兼 CEO に任命したと発表。ハンコック氏は、9 月 1 日付で AIG の取締役にも就任します。同氏は現在、AIG のエグゼクティブ・バイス・プレジデントおよび AIG プロパティ・カジュアリティの CEO を務めており、現在 AIG の社長兼 CEO であるロバート・H・ベンモシェ氏の後任となります。

ベンモシェ氏は、9 月 1 日付で AIG 取締役を辞任し、AIG の顧問に就任する予定です。顧問としての立場において、ベンモシェ氏は CEO に助言し、引き続き AIG の社内リーダーシップ開発プログラムに関与し、また、AIG の経営陣の指導を行います。

AIG の取締役会会長であるロバート・S・ミラー氏は、以下のように述べました。「AIG が大きな変化と機会の時代に突入する中、ピーター・ハンコック氏が当社およびその従業員を将来における成功へと導くための比類ない能力を有していると我々は確信しています。ハンコック氏は、有能なリスク管理者としての経験を含む金融サービスにおける豊富な経験、AIG という企業および保険業界全体に対する理解、AIG の損害保険事業を再び活気づかせることに成功したこと、ならびに強いリーダーシップや包括的な対人関係能力によって、当社をより豊かな将来へと導くに適切な人材となります。

今日の AIG は、5 年前と比べ遙かに強い会社となり、金融危機から長い時間が経った今、世界中の人々や会社が、より良い将来に向けて準備し、損失を回復して自信をもって定年を迎える手助けを行うといった、中核的な目標に焦点を当てています。ハンコック氏が AIG に在職している期間中に収めた成功（成長、利益性とリスクの間で適切なバランスを保った戦略を通じて、より持続可能な価値を創出するためのたゆみない努力を含みます。）は、より価値の高い事業、改善された損失レシオ、より強固なリスク管理の実務および AIG の損害保険部門の引当金の安定化をもたらしました。

AIG の取締役会は、自信をもって、ハンコック氏が、投資家、クライアント、販売提携先、従業員および規制当局が信頼を置ける人物であることを約束します。ハンコック氏は、誠意ならびに AIG がすべてのステークホルダーの金融、規制、

および社会に関する期待を上回るといった強い責任感をもって、主要な戦略や優先事項を推進し続けます。私と残りのAIGの取締役会の全員は、ハンコック氏が、AIGの輝かしい将来のための計画を立てることについて手助けすることを楽しみにしています。

私は、ベンモシェ氏に対し、AIGで成し遂げたすべてのことについて誠意をもって感謝を述べたいと思います。ベンモシェ氏の比類ないリーダーシップとビジョンの下、AIGは、優れた、また時には、想像を超えるような目標および成功を達成してきました。ベンモシェ氏は、AIGを変革させ新たなスタートを切らせるために、絶え間ない努力を続けました。その結果、2008年にAIGが受けた1,820億ドルの政府支援を完済した上で227億ドルの利益を抛出し（アメリカ史上最大規模の企業再建となります。）、非中核資産を売却し、明確な報告ラインの下、グローバル事業の合理化を行い、AIGの事業を成長させる賢明な機会を見つけ出しました。私は、ベンモシェ氏の、〈人々に活動の自由を与え、その者達が責任を持って行動すると、素晴らしいことを達成する〉といった哲学が実現されるのを間近で見守ることができたことを光栄に思っています。」

ハンコック氏は、以下のように述べました。

「私は、AIGの組織全体が、AIGの業務のあらゆる側面において一丸となって抜き出ようと目指している中で、この職責を担うことができ非常に光栄です。ベンモシェ氏のリーダーシップの下、AIGは、危機的状況から、世界の保険業界における卓越したリーダーとして再興しました。ベンモシェ氏は、わずか5年で、AIGの社風を、能力強化と不屈の精神を培い、世界中の従業員を再び活気づかせ、不可能を可能にするものへと変革しました。我々は、世界中の顧客および販売パートナーに対して新たな品質基準を提供し続けており、より強力となったAIGには、今や、業界をリードする地位を拡大するチャンスがあります。私は、当グループのすべてのステークホルダーに対する価値を創造するために、当グループの取締役会、経営陣ならびに非常に有能な従業員および販売提携先と共に働くことを心待ちにしています。」

ハンコック氏は、現在55歳であり、2010年にAIGに入社した後、AIGの損害保険部門が企業向けと消費者向けの二つの主要かつグローバルなグループに再編された2011年3月に、AIGプロパティ・カジュアリティのCEOに任命されました。ハンコック氏は、以前、AIGの財務、リスクおよび投資担当エグゼクティブ・バイス・プレジデントを務めていました。ハンコック氏は、J.P. モルガンにおいてグローバル・デリバティブ・グループを設立し、グローバル債券事業およびグローバル・クレジット・ポートフォリオを運営し、同社の最高財務責任者および最高リ

スク責任者を務めた20年間を含むすべての経歴を、金融サービス業界で積んできました。ハンコック氏は、戦略的リスク管理、アセット・マネジメントおよび革新的年金ソリューション専門のアドバイザー・ファームである、インテグレイテッド・ファイナンス・リミテッドを共同設立し、プレジデントを務めました。ハンコック氏は、キーコープでキー・ナショナル・バンキング担当副会長を務めた後、AIGに入社しました。

ハンコック氏は、ジャパン・ソサイエティーの取締役会およびブリティッシュアメリカン・ビジネスのインターナショナル・アドバイザー・ボードのメンバーです。ハンコック氏は、ケンブリッジ大学のペンブルック・カレッジのウィリアム・ピット特別研究員です。ハンコック氏は香港で育ち、その後、オックスフォード大学に通い、政治学、哲学および経済学の文学士号を取得しました。

# # #

本プレスリリースには1995年の米国私募証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）上の意味における「将来の見通しに関する記述」が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は過去の事実ではなく、将来の事象に関するAIGの見解のみを表しており、その多くは性質上、本質的に不確実なものであり、AIGに制御可能な範疇を超えています。連邦証券法により要求される重要な情報の開示につきAIGが引き続き負う義務を除き、AIGは、たとえ新たな情報、将来の事象またはその他の事由が生じても、書面または口頭を問わず随時示される見解、目標、予測やその他の記述を更新または変更する義務を負わず、またそのような義務を明確に否認する。実際の結果が将来の見通しに関する記述と著しく異なり得る要因は、AIGが米国証券取引委員会に提出している提出書類において記述されています。

# # #